

2019年度 上田市立本原小学校 自己評価シート(関係者枠)

関係者評価 最終報告

学校教育目標	めざす子ども像
<p><b>なかよく たくましく かんがえて</b></p> <p>【2019年度の 基本理念】</p> <p>学ぶ喜びを感じ、 明日を楽しみに来る 学校</p>	○地域を愛し、自分が好きで、人にやさしく思いやりのある子ども
	○堂々と挨拶や考えを言えたり、自分に自信を持って取り組んだりできる前向きな子ども
	○粘り強く考えられる学習意欲の高い子ども
	本年度の重点目標
	もっとかんがえる
	心をこめてつたえる
	楽しむ <sup>◎</sup> 130周年

総合評価		
<p>・原つ子見守り隊の方々や地域の方々にサポートに入っただけありがたい。核家族化が進み、両親とだけ暮らしている子どもたちも多い中、高齢者と関わることで温かい接し方や話し方などが伝わり、温かい人間に成長していると思われる。</p> <p>・本原小の取り組みの中で挨拶を大切に、児童会、地域の人たちとも共に活動できていることが良いと感じる。また、心をこめて伝えることをより充実させ、自信を持って取り組むことのできる子どもが育つことを願う。</p> <p>・授業に工夫が見られ、学習意欲の高い子どもたちの姿を見ることができているが、より一層の充実を願う。</p>		
評価	成果と課題	改善策・向上策
B	<p>・昨年に引き続き「かんがえるくん」を使い、子どもに分かりやすく入り込みやすくてとても良かった。</p> <p>・教師の指導によって変わるので充実を願う。</p>	<p>・考える場面を意識づける指導を継続していく。</p>
A	<p>・昨年に引き続き「つたえちゃん」を使い、子どもに分かりやすく入り込みやすくてとても良かった。</p> <p>・「心をこめてつたえる」ことは、相手を知らないとなし。</p>	<p>・伝える相手をよく理解することのできる授業の工夫をする。</p>
A	<p>・130周年という大きな節目の時に在籍したことを生涯にわたって大事に持っていて欲しい。それにふさわしい会であった。</p> <p>・先生方、子どもたち、保護者も一緒になって楽しめた良い会であった。</p>	<p>・より地域と学校が深いつながりとなることを願う。</p>

分野	重点活動	学校評価の中核的観点
教	なかよく ○一人一人の子どもを大切に学級づくり・学校づくり	○「子ども同士」、「子どもと教師」の関係づくりを良くするための活動ができたか。 (学級におけるルールづくり・あたたかい声がけやかかわり・ことば遣い・休み時間の過ごし方)
		○一人一人の子に居場所があり、学級での生活が楽しいと思える場を創造できたか。 (生活全般・教科・総合的な学習の時間の授業)
		○全校が共に充実感を得られる学習や活動ができたか。 (運動会や音楽会などの行事・児童会活動・130周年記念事業)
育 たくましく	○様々な教育活動・体験を通して、元気な身体と心づくり	○堂々と挨拶や発表ができるようになるための工夫ができたか。 (朝や休み時間の挨拶・行事等における発表・授業における発言)
		○健康な身体づくり・安全な生活環境づくりの工夫ができたか。 (体育授業・運動集会の充実・校庭や体育館使用における環境整備)
		○自己有用感を育む取り組みができたか。 (授業・学級活動・児童会活動)
動		

評価	改善策・向上策
A	<p>・子ども同士の関係は子どもたちが子どもたちと上手く作り上げていくことができている。</p> <p>・先生方と子どもの関係は行事を見ている限り、クラスでまとまっていると感じられる。</p>
B	<p>・子どもたちが、のびのび発表し学習できている。</p> <p>・すべての子どもに居場所があると言うことは学校では難しいと思うが、それが実現するようにして欲しい。</p>
A	<p>・音楽会、運動会、社会見学等の行事を通して育った子どもたちの姿が見られた。</p> <p>・運動会は特に一年生が元気にイキイキとやっていた良かった。(ダンスが周りで見ている人に元気をあたえてくれた。)</p>
B	<p>・地域の皆さんが玄関に立って挨拶をしたり児童会で毎朝各クラスに行って挨拶したりするなど、挨拶の大切さ学校で取り組んでいてすばらしい。</p>
A	<p>・冬場は大縄跳びに取り組み、良いと思います。</p> <p>・外で遊んでいる子どもが少なくなった。(全く見ない日の方が多い)</p>
B	<p>・学習支援を通して3学期見違えるように学習に取り組んだ子がいた。この目覚ましい成長のうらには、クラスの友達や隣席の子どもさんの支えが大きかったと思える。これを全校に広げたい。</p>

かんがえて	すべての(S)子どもの(K)学びが(M)充実する授業づくり(SKM充実授業)	○ もの・こと・人に対する考えを深めていくために「もっとかんがえる」を大切に授業の工夫ができたか。(学習課題・教材・授業構成のしかたなど)	B	・全体的に暗算力が弱いように見える。 ・目標の設定、授業の準備などについて、もう一段の努力が必要だと思った。	・全校でドリル時間を充実させ、加減乗除の基礎を各学年で繰り返す機会を作りたい。暗算力を上げていきたい。 ・子どもが何をどのように学習するかが明確となる板書の工夫。
		○ 対話的・協同的な「心をこめてつたえる」ことを大切に、一人一人が喜びのある授業となる工夫ができたか。(授業構成のしかた・子どもの思いをつなげる支援・評価など)	B	・相手に伝えるためには、自分の考えを人に話す勇氣と自信がないとうまく話すことができない。	・授業の中で子どもたちが頭を休めている場面(早くできた子どもが遊んでしまう。他の方法を考えていない。)が見える。テンポの良い授業が大切である。伸びる子どもを最大限のばしたい。 ・多数決の原則によって進められることが多いと思うが、そうした中に少数意見をどう反映できるか考えさせるような場面が多くなると対話になると思う。
		○ すべての子どもの学びを充実させるためのユニバーサルデザイン化の構築に向けた工夫ができたか。(教室環境・教材の工夫・授業における工夫)	A	・提示物は、見るべきものがありよい。	・学校内でもそうだが、学校外にも広めていくと意識が高まる。
学校運営	地域との連携 PTAやボランティアとの連携を通じた信頼関係の構築	○ 地域で育まれた自然、地域の人・施設・行事などと関わり、地域に根ざした学びを深めることができたか。	A	・先生方と年2回各学年の教育課題と合わせて地域素材や人材を話し合う機会を持っていることで、地域における学習が充実できた。 ・地域のよさを伝えて欲しい。	・できるだけ早い時期に打合せをする時間をとり、より計画的に進めていく。
		○ 130周年記念事業の準備・運営を共に進め、楽しみ、盛り上がるのができたか。	A	・本原地区あげて130周年の記念行事ができ、1年間、その意識が継続できた。 ・130周年記念みんなで楽しめて良かった。	140周年に向けてお願いしたい。
		○ 学校・学年・学級だより、安心安全メール、ホームページでの情報発信や連絡帳、電話などで保護者への連絡・学校内外の相談など、丁寧に行うことができたか。	B	・毎週の学年便りや学校便りは共に写真などで様子も分かりとても良い。 ・「学校便り」町の広報と一緒に回覧で回ってきて見えます。様子が分かって良い。	・丁寧な発信を今後もお願いしたい。

評価基準 A…達成できた B…おおむね達成できた C…やや達成できなかった D…達成できなかった